

オールドタイマー 競技要項

2024年9月29日
改2024年10月7日

1) 競技規則

- (1) 原則としては、国際アイスホッケー連盟の競技規則を適用する。但し、大会の趣旨に則り、次に掲げる事項を生涯スポーツ委員会の独自規定として追加する。
- (2) ボディチェックは禁止とし、違反した場合はマイナーペナルティ又はメジャーペナルティを課す。
- (3) シュートおよびパス等でスティックを膝上に上げた場合、上げた時点でマイナーペナルティを課す。
- (4) 1ゲームで3回のペナルティを受けた選手はゲームアウトとする。
- (5) ハイブリットアイシングは適応しない。
- (6) アイシングの際の交代を認める。
- (7) 薄型軽量の旧式タイプのヘルメットの着用は禁止する。また、国際基準のサーティファイケーションシールが貼付されたヘルメット等を使用することも併せて推奨する。
- (8) 眼鏡使用者は、フルフェイスマスクの着用を**2025-2026 シーズンから義務付ける**。
その他のプレーヤーはハーフバイザーを**2025-2026 シーズンから義務付ける**。
※その他の選手もフルフェイスマスクの着用を推薦する。
- (9) 日本リーグ経験者及び外国籍を有する選手については、登録の制限を設けないが、同時に氷上でプレーできるのは2名までとする。
- (10) 新ルールを適用する。ゴール裏 GK 制限区域に関しては除外する。(神宮には制限区域してラインがないため、全リンク統一で本年度は除外する。)
- (11) タイダウンストラップ着用を義務付ける。
- (12) メンバー表は当日参加メンバーのみを記載すること。
- (15) すべてのプレーヤーにネックガードを着用することを強く推奨する。(努力義務)
今後、ネックガードの国内供給の目処が立ち次第、着用を義務化する予定である。
現時点では耐切創性を認めた BNQ(北米)か CE(欧州)の認証品を推奨する。

この要項に定めるもののほか、日本アイスホッケー連盟規則及び、国際競技規則による。

ただし、アイシングをしたチームの選手交代を、ローカルルールとして認める。

ホームチームベンチ 本部席から見て左側がホームチーム。(江戸川区スポーツランドは本部席から見て右側)

ダイードリンコアイスアリーナは、夜間入口ザンボ口側、東大和スケートセンターは、本部席に向かって右側(ザンボ出入口側)、明治神宮外苑アイススケートリンクは着替えをする場所側。江戸川区スポーツランドは、夜間入口に遠い側。

2) ペナルティの特記事項 全てのマッチペナルティを課せられた選手は無期限出場停止処分とする。

3) 競技方法

- (1) 競技時間は練習5分、各ピリオド正味15分、インターバル3分。
- (2) タイムアウトは設けない。
(但し、リンク終了時間2分前に試合が終了しない場合その時点で試合終了とする)

4) 選手の人数

- (1) ベンチ入り選手人数に上限を設けないが、全選手が出場しなければならない。
ベンチウォーマーは0とすること。該当チームがあった場合は失格とする。
- (2) 試合成立の人数は、試合開始までにゴールキーパー不在であっても、選手6名以上必要、
第2ピリオド開始までにGK1名、プレーヤー7名に満たない場合は試合を放棄したものと
みなし不戦敗とする。

5) 補助規則

- (1) 棄権 試合を棄権するチームは試合日の24時間前までにその理由と共に連盟とオールドタイマーアドレスにメール連絡すること。hiroshi.suzuki@sgc-web.co.jp
試合を棄権するチームは不戦敗（スコアは0対15）とする。
- (2) 当番 当番チームは原則8名以上が試合30分前に集合し、試合のオフィシャルを務める。
8名に満たない場合、両チームの判断に試合の成立を委ねる。
止むを得ず当番を肩代わりする時は、前項（1）棄権の連絡方法で行う。
試合記録の管理、T I H Fスコア連絡サイトへの入力を遅滞なく確実且つ速やかに行う。
- (3) 罰則 当番チーム人員不足のため試合が成立しない場合は、再試合の費用（レフェリー代含む）を
当番チームが負担する。
- (4) ラインズパーソン
当番チームは本年度オールドタイマーレフェリークリニック、社会人Uリーグクリニック受講者、
公認審判該当者の中から2名をラインズパーソンとして各試合に選出する。
ラインズパーソンをこの規約通りに実施できない場合、チーム内、あるいは他チームの助けを
請うなど対処すること。
- (5) スーパーバイザー
当番チームの責任者はスーパーバイザーとしてその任に当たる。
- (6) 感染症対策
マスクの着用、電子ホイッスルの使用などを強制するものではないが、体調管理には十分に留意
して試合、オフィシャルに参加すること。少しでも体調に不安のある場合は積極的に試合、オフ
ィシャルの参加を自粛すること。